

技術ノート KGTN 2010070601

現象

GG のセッションが切断されたが、原因としてどのようなことが考えられるか？

説明

予期せぬ GG のセッション断は、以下のような多くの可能性が考えられます。

- 1) ネットワークの問題
事例：ネットワーク機材の不具合、UDP が絡んでのネットワークの輻輳
- 2) ハードウェアの問題
事例：集約した C:ドライブ装置の過負荷（Windows のパフォーマンス低下）
- 3) OS (Windows) の問題
事例：不適切なチューニング、連続運用による動作不安定
- 4) アプリケーションの問題
事例：過度な描画
- 5) クライアントの問題
事例：実メモリ不足等によるスワップの多発
- 6) その他
事例：日本～中国間での利用

このように、さまざま事象で予期せぬセッション断が発生する可能性がありますので、原因調査に当たっては出来るだけ広範な情報を採取&蓄積し、そしてそれらを分析して原因を絞り込むようにして下さい。

補足 1

GG は標準状態で、次のアルゴリズムで接続の死活監視を行います：クライアントは、サーバとの接続が維持されているかを確認するために、30 秒毎に gg-ping パケット（要求）を送信します。サーバは、クライアントからの gg-ping パケットを受け取ると、それに対する gg-ping パケット（応答）をクライアントへ送信します。クライアントとサーバは、それぞれ「相手からのパケットを 2 回続けて受信出来ない」と、接続が失われたと判断しセッションを強制切断します。

補足 2

接続の死活監視（gg-ping パケットの処理）を無効化することも可能です。

- 1) サービス GO-Global Application Publishing Service を停止する。
- 2) レジストリエディタで、以下のレジストリ設定を行う。
`HKLM\SOFTWARE\GraphOn\Bridges\1.0.0\AppServer
SessionVerification REG_DWORD 0`
- 3) サービス GO-Global Application Publishing Service を開始する。